

3 小学校

[I-3-1表] 主要指標の推移

年度	学校数		学級数		児童数		教員数 (本務者)		1学級当たりの 児童数		教員(本務者) 1人当たりの児童数	
		対前年 増減数		対前年 増減率		対前年 増減率		対前年 増減率		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		学級	%	人	%			人			
平成 23	1,041	△2	18,170	△0.6	482,283	△2.0	27,000	0.1	26.5	△0.4	17.9	△0.4
24	1,039	△2	18,073	△0.5	471,301	△2.3	26,973	△0.1	26.1	△0.5	17.5	△0.4
25	1,036	△3	18,179	0.6	463,068	△1.7	27,133	0.6	25.5	△0.6	17.1	△0.4
26	1,033	△3	18,204	0.1	455,633	△1.6	27,215	0.3	25.0	△0.4	16.7	△0.3
平成 27	1,027	△6	18,234	0.2	449,927	△1.3	27,436	0.8	24.7	△0.4	16.4	△0.3
国立	3	-	54	-	1,941	△2.0	81	△1.2	35.9	△0.7	24.0	△0.2
公立	1,007	△6	17,942	0.2	441,158	△1.2	26,947	0.9	24.6	△0.3	16.4	△0.3
私立	17	-	238	△0.4	6,828	△4.1	408	△2.6	28.7	△1.1	16.7	△0.3

(1) 学校数

- ア 学校数は1,027校で、前年度より6校減少している。 [I-3-1表]
 イ 設置者別では、国立3校(構成比0.3%)、公立1,007校(同98.1%)、私立17校(同1.7%)
 で、公立で6校減少している。 [I-3-1表・統計表13]
 ウ 市町村別では、大阪市307校、堺市95校、東大阪市53校の順に多く、田尻町1校、忠岡
 町・太子町・千早赤阪村2校の順に少ない。 [統計表13]
 エ 都道府県別では、東京都1,351校、北海道1,106校、大阪府1,027校の順である。 [付表-5]

(2) 学級数

- ア 学級数は1万8,234学級で、前年度より30学級(対前年度0.2%)増加している。 [I-3-1表]
 イ 設置者別では、国立54学級(構成比0.3%)、公立1万7,942学級(同98.4%)、私立238学
 級(同1.3%)で、前年度より公立は31学級増加し、私立は1学級減少している。
 [I-3-1表・統計表13]
 ウ 学級編制方式別では、単式学級1万4,504学級(構成比79.5%)、複式学級22学級(同
 0.1%)、特別支援学級3,708学級(同20.3%)で、前年度より単式学級は193学級、複式学級
 は5学級減少し、特別支援学級は228学級増加している。 [I-3-2表]
 エ 市町村別では、大阪市4,819学級、堺市1,795学級、東大阪市968学級の順に多く、千早赤
 阪村16学級、田尻町23学級、能勢町31学級の順に少ない。
 また、前年度と比べると、大阪市36学級、豊中市24学級、枚方市17学級の順に増加し、
 東大阪市15学級、大東市8学級、門真市・泉佐野市7学級の順に減少している。
 [統計表13・付表-7]

[I-3-2表] 学級編制方式別学級数・児童数

年度	総数		単式学級		複式学級		特別支援学級	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
	学級 人							
平成 23	18,170	482,283	15,331	469,681	28	252	2,811	12,350
24	18,073	471,301	15,057	457,721	24	228	2,992	13,352
25	18,179	463,068	14,905	448,513	27	268	3,247	14,287
26	18,204	455,633	14,697	439,702	27	245	3,480	15,686
27	18,234	449,927	14,504	432,528	22	185	3,708	17,214

(3) 児童数

ア 児童数は44万9,927人で、前年度より5,706人(対前年度△1.3%)減少している。

[I-3-1表]

イ 設置者別では、国立1,941人(構成比0.4%)、公立44万1,158人(同98.1%)、私立6,828人(同1.5%)で、前年度より国立は40人、公立は5,375人、私立は291人減少している。

[I-2-1表・統計表14]

ウ 学級編制方式別では、単式学級43万2,528人(構成比96.1%)、複式学級185人(同0.0%)、特別支援学級1万7,214人(同3.8%)で、前年度より単式学級は7,174人、複式学級は60人減少し、特別支援学級は1,528人増加している。

[I-3-2表]

エ 男女別では、男子23万160人(構成比51.2%)、女子21万9,767人(同48.8%)で、前年度より男子は2,952人、女子は2,754人減少している。

[I-3-3表]

オ 市町村別では、大阪市11万7,629人、堺市4万6,795人、東大阪市2万3,984人の順に多く、千早赤阪村226人、能勢町363人、田尻町564人の順に少ない。

また、前年度と比べると豊中市241人、箕面市103人、島本町15人の順に増加し、東大阪市624人、堺市467人、大阪市422人の順に減少している。

[統計表14・付表-7]

カ 都道府県別では、東京都59万2,158人、神奈川県46万6,464人、大阪府44万9,927人の順である。

[付表-5]

キ 1学級当たりの児童数は24.7人で、前年度より0.4人減少している。

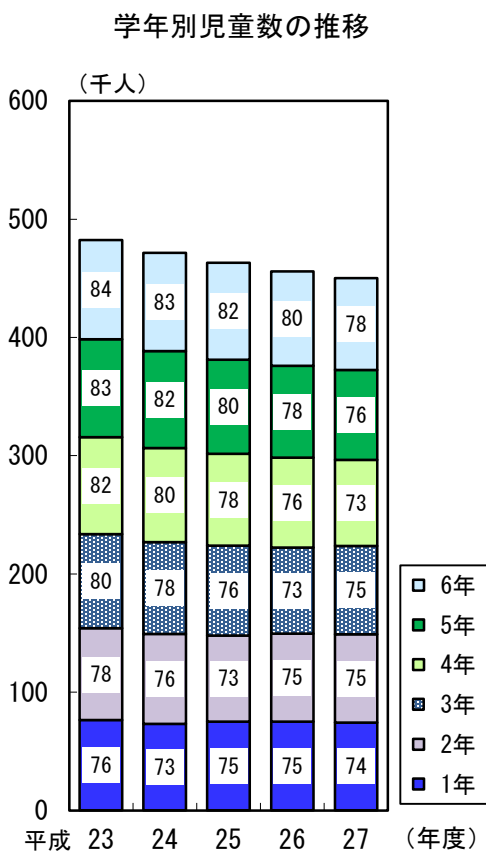
また、市町村別では、熊取町27.3人、吹田市26.4人、忠岡町26.3人の順に多い。

[I-3-1表・付表-13]

ク 教員(本務者)1人当たりの児童数は16.4人で、前年度より0.3人減少している。

[I-3-1表]

[I-3-1図]



[I-3-3表] 設置者別男女別児童数

年度	総数			国立		公立		私立	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女
平成23	482,283	247,207	235,076	1,068	1,063	242,855	229,729	3,284	4,284
24	471,301	241,601	229,700	1,038	1,042	237,350	224,378	3,213	4,280
25	463,068	237,198	225,870	1,022	1,010	232,992	220,692	3,184	4,168
26	455,633	233,112	222,521	998	983	229,013	217,520	3,101	4,018
27	449,927	230,160	219,767	976	965	226,190	214,968	2,994	3,834

[I-3-4表] 学年別児童数

年度	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平成23	482,283	76,055	77,693	79,701	82,023	82,921	83,890
24	471,301	72,921	76,025	77,628	79,656	82,055	83,016
25	463,068	74,737	72,882	76,043	77,633	79,693	82,080
26	455,633	74,823	74,590	72,815	76,062	77,635	79,708
平成27	449,927	74,144	74,650	74,594	72,815	76,052	77,672
男	230,160	38,127	38,200	37,940	37,372	38,892	39,629
女	219,767	36,017	36,450	36,654	35,443	37,160	38,043

(4) 帰国児童数・外国人児童数

ア 帰国児童数は336人で、前年度間より26人(対前年度間8.4%)増加している。

[I-3-5表]

イ 外国人児童数は3,784人で、前年度より36人(対前年度△0.9%)減少している。

[I-3-6表]

[I-3-5表] 帰国児童数

年度間	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	人						
平成 22	251	22	33	46	41	49	60
23	274	23	60	48	47	49	47
24	323	30	62	50	59	64	58
25	310	34	42	56	57	67	54
26	336	41	44	59	61	68	63

[I-3-6表] 外国人児童数

年度	総数	国立	公立	私立
	人			
平成 23	4,187	16	3,992	179
24	3,978	16	3,772	190
25	3,878	13	3,672	193
26	3,820	12	3,617	191
27	3,784	7	3,617	160

(5) 長期欠席者数(平成26年度間)

ア 長期欠席者数は5,801人で、前年度間より195人(対前年度間3.5%)増加している。

[I-3-7表]

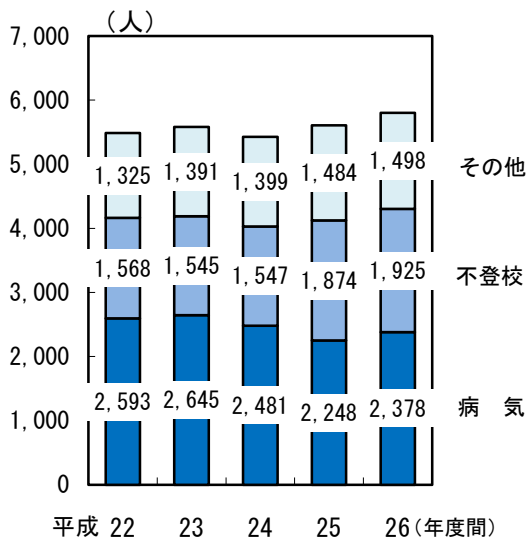
イ 理由別では、病気2,378人(構成比41.0%)、不登校1,925人(同33.2%)、その他1,497人(同25.8%)で、前年度間より病気は130人、不登校は51人、その他は16人増加している。

[I-3-7表]

ウ 長期欠席者数が、全児童数に占める割合は1.27%で、前年度間より0.06ポイント上昇している。全国平均は0.88%で、大阪府が0.40ポイント上回っている。

[I-3-7表]

[I-3-2図] 理由別長期欠席者数の推移



※その他には経済的理由を含む

[I-3-7表] 理由別長期欠席者数

年度間	総数	全児童数に占める長欠者率	欠席理由				全国総数	全児童数に占める長欠者率
			病気	経済的	不登校	その他		
平成 22	5,486	1.11	2,593	1	1,568	1,324	52,594	0.75
23	5,581	1.16	2,645	-	1,545	1,391	54,340	0.79
24	5,427	1.15	2,481	1	1,547	1,398	53,952	0.80
25	5,606	1.21	2,248	3	1,874	1,481	55,486	0.83
26	5,801	1.27	2,378	1	1,925	1,497	57,862	0.88

(6) 教員数(本務者)

ア 教員数(本務者)は2万7,436人で、前年度より221人(対前年度0.8%)増加している。

[I-3-1表]

イ 設置者別では、国立81人(構成比0.3%)、公立2万6,947人(同98.2%)、私立408人(同1.5%)で、前年度より国立は1人、私立は11人減少し、公立は233人増加している。

[I-3-1表・統計表17]

ウ 男女別では、男性1万28人(構成比36.6%)、女性1万7,408人(同63.4%)で、前年度より男性は248人増加し、女性は27人減少している。

[統計表17]